

# The World Citizen

## 平成29年度 第2回学校評価保護者アンケートの結果と改善策について

今回のアンケートは、全校で696人の保護者の方にご回答をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。アンケートの集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。お寄せいただいた貴重なご意見をもとに、日々の教育活動の工夫・改善に努めていきたいと考えております。

\* 集計結果は、生徒・保護者の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計割合(%)です。

評価項目	第1回集計結果		今後に向けての改善策
	前期	後期	
1 子どもは家庭や地域でも自分から進んであいさつをする。	93	91	現在の取り組みを継続しつつ、校門指導や授業だけでなく常にあらゆる場面で挨拶の励行を実践していきます。
2 子どもは家庭や地域でも意欲的に清掃活動に取り組む。	69	63	生徒の自己評価は悪くないが、保護者の評価が低い。家庭での清掃活動、環境整備につながる指導を考えていきます。
3 子どもは学校が好きである。	94	87	現在の取組を継続しつつ、生徒の規則等も前後期統一できる規則は統一する方向で見直していきます。
4 子どもは英語や外国文化に興味がある。	91	83	現在の取組を継続しつつ、4技能に加えて5領域目(発表力・伝える力)を意識した授業になるよう工夫し、実践していきます。
5 イングリッシュキャンプやスピーチコンテスト、海外修学旅行などにより、子どもの国際コミュニケーション能力は高まっている。	89	82	より実践的で効果的な行事内容となるように、教科内・学年内で検討していきます。
6 学校は、授業や学校行事を通じて我が国の文化・伝統に触れる機会を設けている。	92	84	現在の評価を維持できるように、各科目、各教科ごとに日本及び世界の文化・伝統を常時取り上げられる授業内容の充実を図ります。
7 子どもたちには、確かな学力身につけている。	87	85	現在の取組を維持しながら、定期考査の問題等を検討する機会を設け、生徒一人一人の理解の度合いを更に細かく把握し、指導に活かします。
8 英語や数学の少人数学級は生徒の学力向上に効果がある。	95	93	高い評価を維持できるように、現在の取組を常にチェックします。
9 子どもは、自分なりの目標をもって学習に取り組んでいる。	88	86	職員研修で職員全体で共有した「様々な視点による生徒理解と多様性」の手法を活用して、一人一人の学習目標達成を支援します。
10 子どもは、毎日家庭学習に取り組む習慣が身につけている。	79	86	生徒が自己有用感を感じる、適切な負荷のかかる課題の課し方について、質・量の両面を各教科内・学年内で具体的に検討します。
11 子どもの様子から、子どもは先生との信頼関係が築けている。	89	86	現在の取組を継続します。
12 学校生活を通して、子どもはクラスの友人とよりよい人間関係を築いている。	94	95	現在の取組を継続しつつ、孤立している生徒がいかに注意し、仕事や役割分担等を公平に行うようにします。
13 子どもは自分の健康に留意して生活している。	86	83	学校医や養護教諭からの指導助言や生徒保健委員からの健康関連情報を、保健便り等によって、頻度をより高めて全校生徒に提供します。
14 子どもは、部活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる。	95	82	4年次以降の部活動加入率を低下させないための現在の取組を維持するとともに、委員会活動の活性化に向けた新たな取組を考えます。
15 学校はいじめ防止に努め、いじめが発生した場合にも解消してくれた。	86	82	現在の取組を継続しつつ、よりきめ細かい対応として生徒への面談等を実施し、関係をより密にしていきます。
16 子どもは、自己を理解したうえで将来の職業を選択しようと考えている。	86	92	全校の生徒が一年間のSGH諸活動で取り組んだ探究活動の成果をふまえ、自分の興味・関心を抱くテーマを自己認識することによって、学習意欲の向上に連結するアプローチを行います。
17 子どもは、自分自身の進路に関する意識を有している。(後期課程のみ)		94	4年生の文理分け、5年生の科目選択をふまえ、自己の学習計画を充実させられるよう働きかけます。
18 子どもは進路希望を理解している。	84	91	年間計画に従い、2月に1、2年生生徒・保護者対象の進路講演会を実施します。
19 学校から、生徒・保護者に必要な進路情報の提供を受けている。	78	87	各学年通信に学力推移調査等の結果を掲載し、各家庭で保護者と生徒が話し合うテーマを提供します。
20 進路講演会や進路関連行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	90	88	年間計画に従って3月に実施される全校の保護者を対象とするPTA進路学習会において、進路情報を提供します。

21	学校のwebページには、新しい情報が定期的に載っている。	87	74	Webページの担当を中心に更新回数を増やし、内容の充実を心がけてきましたが、Webページから情報を得るニーズが高まっていることを考慮し、よりタイムリーな情報更新を心がけます。
22	保護者向け学校行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	97	93	様々な機会を捉えてながら保護者のニーズに応えられる行事が企画出来るように努力します。
23	学校は、適切に文書やメール等で連絡してくれる。	91	85	一斉メールのあり方を常に振り返りながら、必要な情報が過不足なく伝達出来るように引き続き取り組みます。
24	学校はPTA(保護者)と連携し、奉仕活動などの地域活動を行っている。	85	73	これまでの取組を効果的に継続し、引き続き活動の実態を周知できるように努力します。
25	交通安全教室や防災避難訓練は子どもの安全意識向上に役立っている。	95	90	現在の取組を継続しつつ、より生徒が実感できる内容にしていきます。
26	学校の施設・設備は整備され、安全である。	92	89	照明設備等、安全点検や学校評価で指摘された課題を解決できるよう、予算の確保をより強く働きかけます。

## ○第2回学校評価保護者アンケート自由記述欄より

多くの貴重なご意見やご提案をいただいております。ご協力いただき、ありがとうございました。その中で、主だった意見とその対応について報告いたします。その他の意見や提案もありがたく頂戴いたしました。中には予算等の面で実施が難しいものもありますが、一つ一つ解決に向けて検討し、より良い学校運営に生かしてまいります。

### 学習課題について

各教科では授業での学習内容を補うためや、進路実現に向けた計画的な学習を進めていくために、家庭で行う様々な課題を課しております。課題に対して個々の生徒が感じる負担感や学習の進捗状況は個人差がありますので、本校での学習活動を行う上で必要な量や適切な内容を各担当が教科内で相談の上決めております。今後も、より良い課題とはどのようなものかについて全職員で検討し生徒が課題の意味を理解し学力を高められる実践をしてまいります。

### 中等教育学校らしいルールについて

6年間の一貫教育を行う本校ですが、前期課程と後期課程で校内生活上のルールが異なる場合が多少ございます。これは生徒の発達の段階を考慮したり、一般の中学校や高校での生活様式との均衡を保つためや創立当時から指導してきているものです。しかし、例えば冬季防寒対策として後期生のみ膝掛けを認めているなど同じ学校で生活する生徒のルールとして見直しが必要なものもありますので、生徒がより良く生活できるよう改善してまいります。

### 登下校時の安全指導について

全校の9割弱の生徒が登下校に自転車を使用しています。交通安全指導は定期的に、あるいは機会を捉えて行っておりますが、自転車による事故件数はほぼ横ばいが現状です。事故の多くが一時不停止や前方不注意によるものですが、中には安全な走行をしていたにもかかわらず、事故に遭う場合もあります。本校でも定期的な街頭指導や機会を捉えて交通安全指導の他、生徒自身により危険箇所を把握し危険を予知して自らの身を守る力を育てているところです。生徒が作成した危険箇所マップは本校HPでもご覧になれます。なお、本校北側道路は幅も狭く下校時には混雑いたしますので、荒天時等にやむなく車で送迎される場合は北側道路で停車して生徒を乗降させることがないよう、ルールの遵守をお願いいたします。

### 進路指導について

大学入試改革によって、今年度の3年生から新しい大学入試で受験することになります。このことに関する情報は進路講演会でも話題にして積極的に進めておるところです。また、この入試から英語の外部検定を活用することから、本校在学中に取得を目指すGTECのスコアや英検の級等を前期課程の段階から見直し、生徒の意識を高めるよう指導していきます。来年度も年間行事計画に実施日を記載いたしますので、試験日とともにそれに向けた準備についてご家庭でもご確認ください。

ご協力ありがとうございました。